

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 6日

【評価実施概要】

事業所番号	0177200078		
法人名	環境開発株式会社		
事業所名	グループホームのぞみの家		
所在地	赤平市宮下町3丁目1番地 (電話) 0125-32-2003		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年10月23日	評価確定日	平成19年12月6日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年8月26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24 人	常勤 19人, 非常勤 5人, 常勤換算	14.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1部2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,000~20,400 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	月額	30,000 円	

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	5	要介護2	3
要介護3	6	要介護4	1
要介護5	2	要支援2	1
年齢	平均 86.5歳	最低 75歳	最高 97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	赤川病院・平岸病院・神山歯科医院・市立赤平総合病院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は平成15年に開設されて以来、近隣小学校の運動会・学芸会の見学や市のイベントへの参加やボランティアの受け入れなど、地域に根ざした活動を積極的に行っている。また、日帰り温泉や外食などへの外出や事業所内に設置されているカラオケルームにて歌を楽しむなど、利用者の希望や意向を最大限尊重した支援を行えるよう取り組んでいる。法人全体として3名の看護師がおり、医療面において利用者本人・家族への安心に繋がっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では改善事項は特になかったが、会議で結果を報告しケアサービスの更なる質の向上に向けて取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回外部評価を行うにあたり、全職員で話し合いながら自己評価に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議で事業所の運営内容・利用者の状況・外部評価の結果等を報告している。次回開催時には前回開催時に出た質問等に答え、活発な意見交換を交わす予定である。また、利用者も構成員として参加できるよう検討中である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月家族へ介護日誌や手紙を送付し、利用者の暮らしぶりや健康状態等を報告している。その際、家族から意見・苦情等を記入して返信できるよう工夫がなされている。家族から意見等を受けた際は職員間で検討し、ケアサービスに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内の祭りやイベントなど、地域の行事に参加している。また、近隣小学校の運動会や学芸会を見学したり小学生が事業所を訪問するなど、地域との交流が相互に図られている。今後、より一層地域において事業所としての役割を担っていくため、事業所が中心となって地区の自治会設立を検討中である。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者一人ひとりの自由を大切にし、個別のサービスを心がけることを盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時に理念について話し合っ共有しながら、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の行事やイベントに積極的に参加している。また、近隣小学校の運動会を見学したり小学生が事業所を訪問するなど、地域との交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の外部評価に際して職員間で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。また、外部評価の結果についてはミーティングで報告し、改善に向けて話し合っており、家族に対して結果を郵送し伝えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において事業所の運営内容・利用者の状況・外部評価の結果等を報告している。また、利用者も構成員としての参加を現在検討中である。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域ケア会議や市の認知症家族の会等に参加したり、日頃から市の担当者と連絡を取るなど、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族来訪時に利用者の暮らしぶりや健康状態を伝えるほか、毎月送付している介護日誌や手紙で利用者の様子を家族に伝えている。また、遠方の家族には誕生日会の様子等のビデオレターを送付している。職員の異動に関しては広報誌にて伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月、介護日誌や手紙を送付する際に家族から返信できるようにしており、家族が意見・苦情等を伝えやすいような工夫がなされている。また、重要事項説明書に苦情相談窓口を明示し、家族から意見等を受けた場合は職員間で話し合い、ケアサービスに活かしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職や異動があった場合は、新旧の職員が共に勤務に就けるよう配置に工夫し、利用者本人や家族に不安を与えないよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験に応じた研修に参加する機会が設けられており、職員は積極的に受講している。受講後は報告書を作成し、全職員に回覧して内容を共有できるよう工夫している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域ケア会議・職員研修会などへの参加や空知管内以外の他事業所との相互訪問などを通じて意見交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者宅を訪問したり利用者本人・家族に事業所を見学してもらい、事業所の雰囲気に馴染めるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>敬老会などの行事の企画や準備などを利用者と職員が協力しながら一緒に行っている。また、調理や買い物などの際に職員は利用者から教えてもらうことが多く、支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者との会話や表情・動作などからも思いや意向の把握に努め、その人らしい暮らしとなるよう努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者本人・家族の意見や希望を採り入れ、関係者で話し合いながら介護計画を作成している。	○	今後、より一層利用者主体の暮らしを反映した計画を作成することが期待される。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	定期的に見直しを行い、利用者の身体状況に変化があった場合はそのつど家族と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	法人全体で3名の看護師がおり、医療面において本人・家族が安心できる体制が築かれている。また、認知症専門医と連携を取りながら柔軟な支援を実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者それぞれのかかりつけ医への受診支援を行っている。通院の際は職員が付き添い、受診後は結果を家族に報告している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化・終末期に向けた方針について文書化し、説明をした上で家族に署名をもらっている。また、利用者の状態変化に応じて家族や医療機関と連絡を取りそのつど話し合い、方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者を尊重した支援を日頃から心がけており、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのない対応の徹底が図られている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一人ひとりのペースや体調に配慮し、その人らしい生活となるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力に応じて食材の買い物・調理・後片付けなどを職員と一緒にやり、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯など利用者の希望に応じた入浴支援を行っている。また、入浴を嫌がる利用者には言葉がけ等を工夫し、一人ひとりに合わせて対応している。また、入浴剤を使用したり温泉を利用するなど工夫し、入浴を楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	買い物・調理・掃除・草取りなど、一人ひとりの力を発揮できる場面作りに努めている。また、外食や温泉にでかけるなど、気晴らしや楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物・美容院など一人ひとりの希望に沿って対応し、日常的に戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の理由から夜間は施錠している。また、居間の入り口に鈴をつけて出入りを察知できるよう工夫し、日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼夜を想定した避難訓練や初期消火訓練を実施している。また、職員は救急救命講習を受講しており、緊急時への対応もできるようになっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録しており、職員は把握している。また、献立を栄養士に確認してもらい、一人ひとりの健康状態に応じた栄養バランスを確保できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カレンダーや装飾品により、季節感を感じられるよう工夫している。また、共用空間には要所に手すりが設置されており、利用者に配慮した造りになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具・仏壇・写真などが持ち込まれており、本人が居心地良く過ごせるような配慮がなされている。		

 は、重点項目。